国土交通省 第 2 回 鉄道の混雑緩和に資する情報提供のあり方に関する勉強会

# 鉄道混雑情報提供のあり方

2021/01/25 (株)トラフィックブレイン 代表取締役 太田恒平

# 自己紹介



# 太田恒平(おおたこうへい) 1983年11月06日生37歳

# Traffic Brain 代表取締役社長

会社:交通データ分析・コンサルティング

・ 学歴:東京大学 社会基盤学科 卒業、空間情報科学研究センター 修士

・ 職歴: 2009年 ナビタイム入社、2017年 起業

# 交通情報=ライフワーク

- ■卒論:鉄道等の異常時情報提供の研究
  - ・「インフラの異常時のおける不確実情報の不足についての研究 ~事業者はなぜ「見込み情報」を出し惜しむのか?~」
  - ・指導教員の家田仁教授は混雑情報研究のパイオニア
- ■ナビタイム:経路探索の技術責任者、交通コンサルティング事業 創設
  - ・カーナビの渋滞・所要時間予測、電車混雑予測 など研究開発
  - ・車プローブ、経路検索、訪日外国人人流などビッグデータの分析・販売

- ■トラフィックブレイン:バスデータの仕事がメイン
  - ・遅延改善などのデータ分析
  - ・標準的なバス情報フォーマット/GTFSのコンサルティング

# ナビタイム時代の鉄道混雑情報技術への関わり

# 電車混雑予測

平常時・列車毎・絶対的指標

責任者として、研究統括、鉄道事業者協議、学会発表等を担当







#### 車両別混雑度表示

https://corporate.navitime.co.jp/topics/pr/201706/23 4139.html

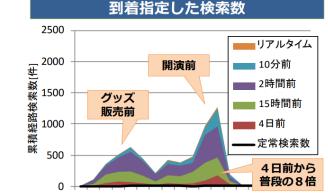
# 混雑予報

異常検出・駅毎・相対的指標 研究者として、精度改善、学会発表等を担当

予報の関連分析 ~ももクロライブ日の西武球場前~

経路検索の際には数時間〜数日先の日時を指定されることが多いため、 近未来の移動需要を検出することができます。

#### 2013年4月13日に西武球場前を 到着指定した検索数



5 6 7 8 9 1011121314151617181920212223

検索対象時刻

#### 他に検出されたイベント

	П	分類	小分類	検出数
			コンサート	62
ı		レジャー	スポーツ	17
			その他イベント	12
			行楽地・施設	28
		業務・	オフィス街	36
	1	教育	教育イベント	47
		交通	ダイヤ改正	15
			空港	2
		不明	-	48
	ŀ	合計		267

予測対象期間 2013年3月18日~4月14日(4週間) 突発的移動需要発生回数:全12,268回 (4日前検出率2.2%)

#### 駅単位の予報を路線網に展開できないか?

(C) NAVITIME JAPAN 28

https://consulting.navitime.biz/pdf/presentation\_20160715\_01.pdf

# バス情報と私

# 両備グループでバスロケ活用

#### 両備グループ「バス事業改善プロジェクト」体制図

#### 両備グループ

バス会社 両備バスカンパニー 岡山電気軌道 井笠バスカンパニー 中国バス リオス

(バスロケーションシステム) 地域公共交通総合研究所 (プロジェクト運営)

グループの技術・知見を集結

#### 最先端の技術者とのオープンイノベーション

トラフィックブレイン (ダイヤ改正支援システム開発)

東京大学 伊藤昌毅助教 (テクニカルアドバイザー)

- 1. 遅延が少ないダイヤの実現
  - →その後、京王バス・九州産交バスに展開
- **2.標準化・オープンデータ化・Google Maps掲載**→その後、全国展開

# 標準化・オープンデータ化

国交省バスデータ検討会事務局(2019.1)

#### 座長:伊藤昌毅先生



その他、全国各地で セミナー・研修・コンサルを実施中

# 私なりのコロナ対策運動

#### くらしの足 緊急フォーラム:登壇・運営

2)JR西日本, https://bit.ly/2yHMqfE 3)NHK, https://bit.ly/2yz9ayD 5)東洋経済, https://bit.ly/353inLM

7)読売新聞, https://bit.ly/2x1fo9S

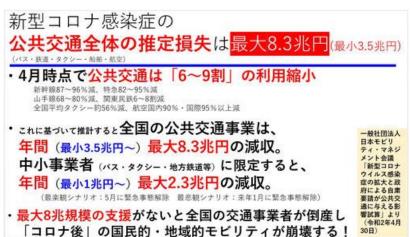
#### 特設サイト:運営

#### 

湘南モノレール

銚子雷鉄

# JCOMM減収推計:試算主担当







加藤博和先生、神田佑亮先生、井原雄人先生ら 多くの人と協力して発信

# 今日の話題提供

# ①バスに学ぶ混雑情報活用

- バス情報の標準化・オープンデータ化
- 利用実績の見える化から考える地域交通

# ②ディスカッション

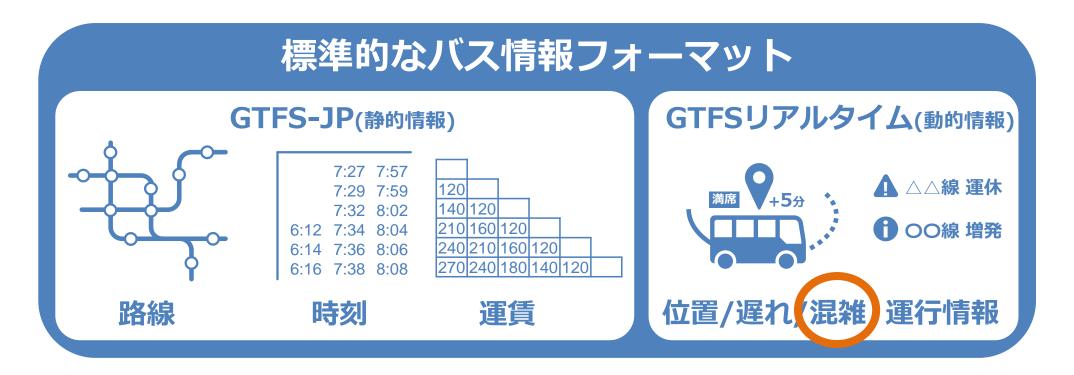
- ・情報流通における課題
- 何のための混雑情報か?

# バスに学ぶ混雑情報活用

# バス情報の標準化・オープンデータ化

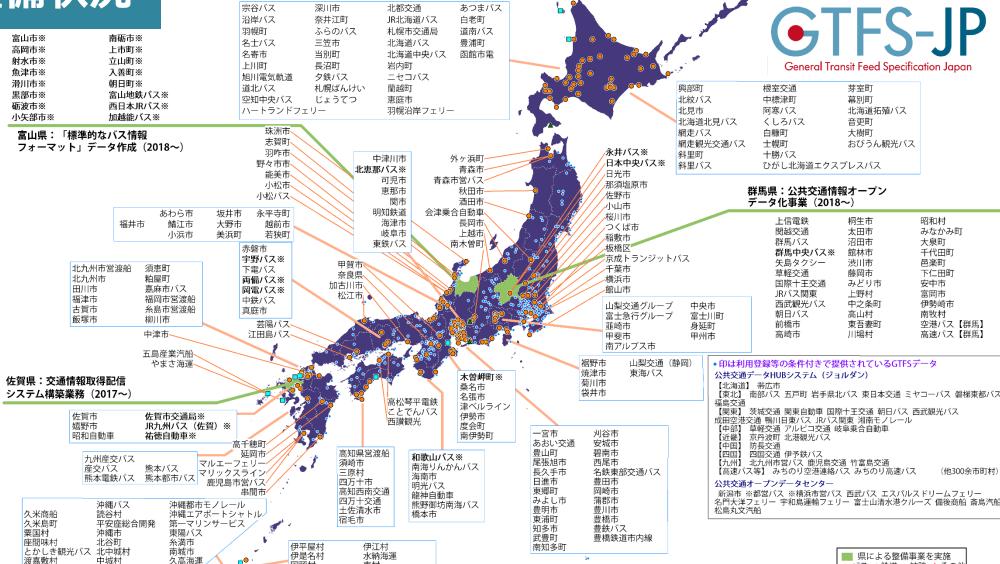
# 日本のバスデータの標準化・オープンデータ化

Google等で使われる国際的デファクトスタンダード「GTFS」を2017年に国交省が拡張のうえ標準に制定。2018年に混雑を含む動的情報にも拡張。



その後、全国にバスオープンデータが広がっている

# 静的データ整備状況



2020年12月 292社!

八重山観光フェリー

船浮海運

福山海運

東バス

与那国町

安栄観光

由布島水牛車

カリー観光

標準的なバス情報フォーマット (GTFS-JP)による 公共交通オープンデータ一覧 2020年12月現在(292事業者)

国頭村

八千代バス・タクシー

宮古協栄バス

中央交通

共和バス

大神海運 多良間海運 伊江島観光バス

やんばる急行バス

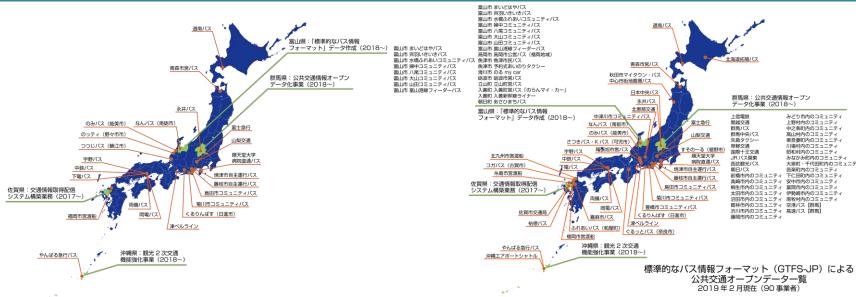
沖縄県:観光2次交通

機能強化事業(2018~)

●バス ▲鉄道 ■航路 ★その他

※リアルタイムデータにも対応

# 整備の広がり



富山市 呉羽いきいきパス 富山市 水橋ふれあいコミュニティパス 黒部市 市内路線パス 富山市 蝸中コミュニティバス 都波市 樹波市営バス 富山市 八尾コミュニティバス 小矢部市 小矢部市営バン 上市町 上市町営バス 創山市 富山海線フィーダーバ 入業町 入業町製パス「のらんマイ・カー 群馬県:公共交通情報オープン データ化事業 (2018~) 富山県:「標準的なバス情報 フォーマット」データ作成(2018~) 北東那交通 山梨交通 都営バス コガバス(古賀市 舟島市営道船 佐賀県:交通情報取得配合 豊橋市コミュニティバス 豊橋鉄道市内線 ※: リアルタイムデータにも対応 : 県による整備事業を実施 三油島原ライン 沖縄エアボートシャトル

2019年12月:175事業者

2018年7月:23事業者

2019年2月:90事業者

静的情報:3年半でほぼ0から292事業者

民間・コミバスともに全国の約1/4

動的情報:29事業者に拡大中

その他セミオープンデータとして、都営\*1・横浜市営\*1・みちのりHD2社\*2も

事業者:地方部、非鉄道系が積極的。

\*1:再配布等が禁止な公共交通オープンデータセンター、
\*2:データライセンスが不明確なジョルダン公共交通データHUBシステム

両備グループ・みちのりHD等はグループを挙げて整備。

・ 行政 : 運輸局や道県も整備や研修を事業化

# 混雑情報のGTFSリアルタイム配信状況

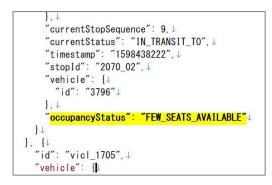
# 宇野バス(岡山県)は手動レバーを元に オープンデータ化・Google掲載







# 横浜市営バスもデータ配信開始



# ジョルダンが取込



https://www.jorudan.co.jp/company/data/press/2020/20201221 crowd-bus.html

# 十勝バス(北海道)もGoogle掲載済 今後データも提供予定とのこと



# 利用実績データの分析 ②豊岡スマートコミュニティ

# 利用実績データの所在と取扱実績

# ICカード



http://www.paspy.jp/use/use.html

広島市「バス活性化基本計画」用に ナビタイム交通網データとの 突き合わせを実施(2014)

# 運賃箱金庫

整理券にはバーコードで 乗車バス停が記録されている

整理券 No.1

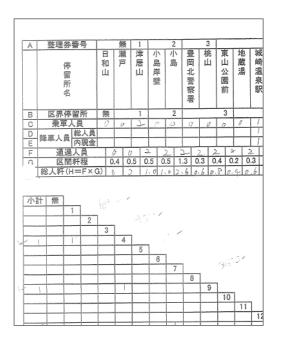
運賃箱内の金庫に データ記録装置が内蔵されている



青森市営バス、東大、慶應大と GTFSとのマッチング等を 共同研究(2019-)

リアルタイム情報の本命のはずだが、通信・ソフトが整わず活用進まず

# 乗降調查@紙



全但バス、豊岡市 トヨタ・モビリティ基金 と分析中(2020-)

リアルタイムは無理だが広く普及

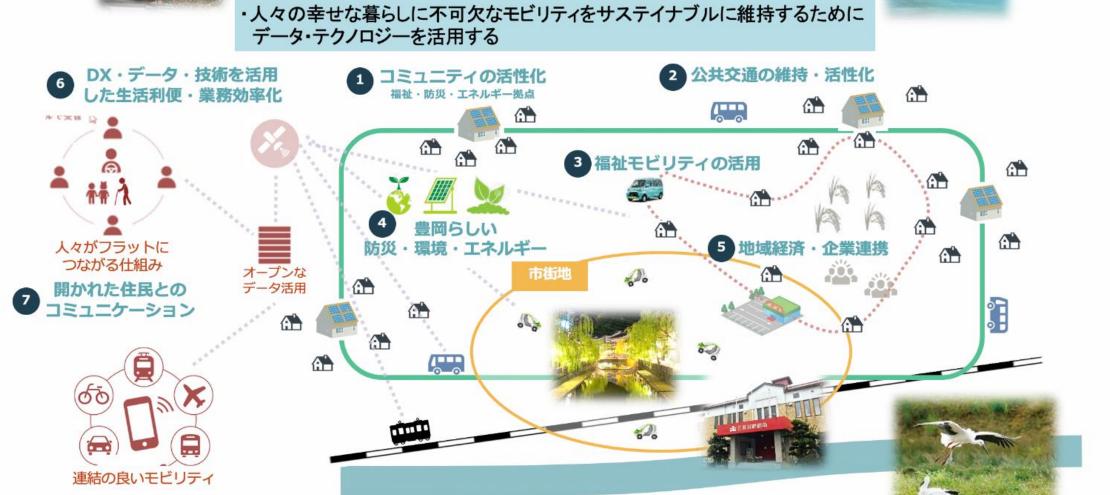
その他、赤外線・カメラ等によるセンシングもあるが、普及していない

# 豊岡スマートコミュニティ powered by トヨタ・モビリティ基金



# 豊岡スマートコミュニティの目指す姿

・「疎」の非効率と弱点をテクノロジーでカバーし、人々が多様性を受け入れ、 フラットにつながり支え合う「スマートコミュニティ」の実現を目指す



# バス利用実態の見える化

#### バスの利用実態が不明

- ・どこで乗降? 何時の便?
- ・ダウンサイジング可能か?
- ・税金投入の意味あるの?

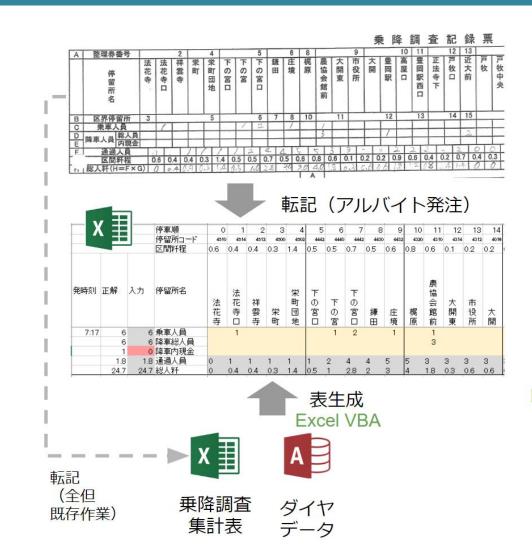
#### 紙にデータが埋没

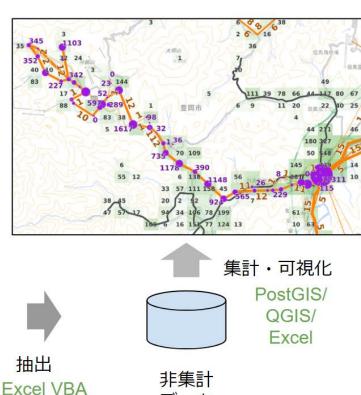
- ・年2回乗り込み調査
- ・紙にしか詳細がない
- ・行政には申請用の統計のみ

#### データで語る習慣が無い

- ・データ整理・分析の仕方が不明
- ・肌感覚をバス会社/行政/住民で共有できず相互に遠慮
- ・踏み込んだ議論ができない







データ

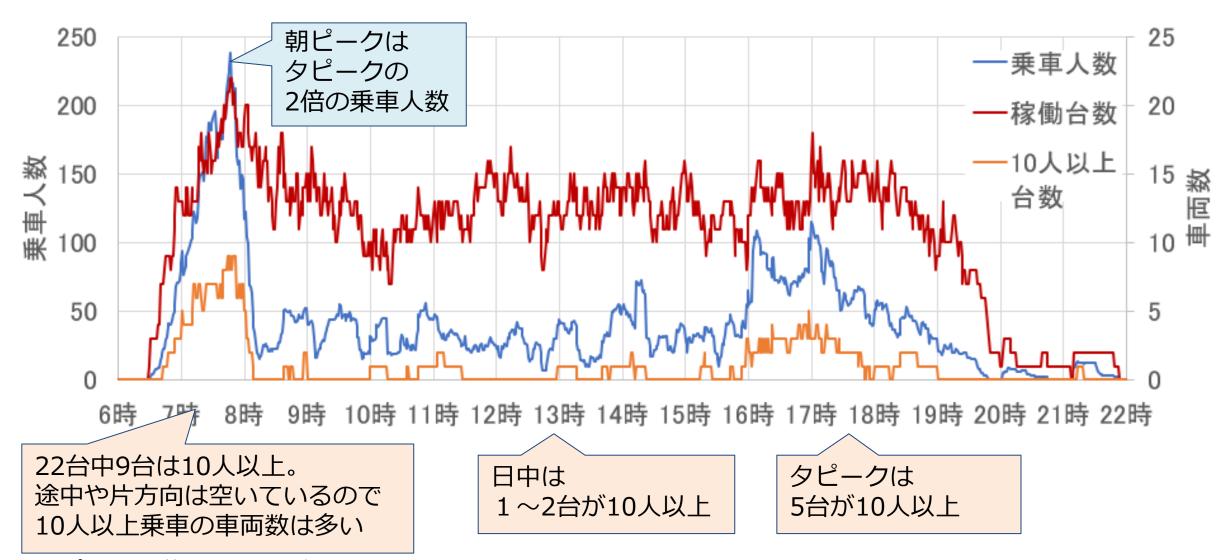
現場の環境やスキルに合わせ、あえて一昔前の技術で開発





# 時間変動

# 豊岡のバスも朝だけは密



- ・朝ピークを分散できれば全体的な小型化が可能に?→住民・学校の協力による時差通学が不可欠
- ・日中は小型車によるオンデマンド運行で賄えないか?

そもそも、揃って密通学・密通勤し、 12時きっかりに食堂で密食する豊岡ライフは幸せか?

# 現場のデータを見る目が変わってきた

# ■全但バス

- **肌感覚**では知っていたことも、数字で出せると**説得力**が違う
- ・既存の資料からでも**分析次第**で知見が得られることに驚いた
- これをきっかけに、市や住民とも議論していきたい
- **ほかの年**のデータも作れる? **自分達**でも入力、分析できる?

# ■豊岡市役所 交通政策係

- ・地図で分かりやすく示せれば、地域の協議会でも議論しやすい。
- コミュニティバスでも分析したい。乗り込み調査ならしますよ!
- 教育・福祉など他部署とも連携して全体最適を目指したい

# ■豊岡市役所 大交流課 課長(前任の交通政策係)

- 過去の再編の時もデータ入力はしたが、こういう**見せ方**はしていなかった
- 人力ではなく自動で常時データを取れないか?

退屈な作業から創造的な企画へ!

データを肴に地域で対話が生まれる!

# データ入力・分析実習@全但バス



	Α	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	K	L	M	N	0	Р	Q	R	S
1				停車順	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
2				停留所コード	4510	4514	4512	4500	4502	4442	4440	4442	4430	4432	4320	4310	4314	4312	4018
3				区間粁程	0.6	0.4	0.4	0.3	1.4	0.5	0.5	0.7	0.5	0.6	0.8	0.6	0.1	0.2	0.2
4	発時刻	正解	入力	停留所名	法花寺	法花寺口	祥雲寺	栄町	栄町団地	下の宮口	下の宮	下の宮口	鎌田	庄境	梶原	農協会館前	大開東	市役所	大開
5	7:17	3	0	乗車人員															
6		3		降車総人員															
7		1		降車内現金															
8		1.2	0	通過人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9		17.4	0	総人粁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

合計 / ON_C	OU	列工																
		±6 ⊫‡		± ₩	⊕ <mark>9</mark>	± 10 時	± 時	± 12 時	± 13 時	± ■	± 15 時	± 16 時	± 17 時	± 18 時	± 19 時	± 20 時	± 21	総計
行ラベル																		
豊岡駅		6	47	21	14	43	28	32	20	15	16	25	24	15	8	5	6	325
出石		5	36	4	8	3	4	2	18	7	6	52	20	28	2	0	0	195
豊岡病院			0	0	7	9	13	5	12	20	17	15	8	5	1			112
江原駅		1	12	4	1	5	2	3	10	6	7	0	10	14	1		3	79
日和山		1	0	0	0	0	1	8	0	43	8	15	0	0	0			76
但馬農高		0	1	0	1	0	0	4	0	0	0	41	20	7	0	0		74
城崎温泉駅		0	2	2	8	19	3	- 11	1	6	9	4	3	0	0			68
豊田町		0	7	3	0	1	1	- 11	0	6	2	5	7	3	1	1	0	48
市役所		1	2	2	0	0	3	2	1	1	5	1	- 11	8	3	1	2	43
出石農協前		7	12	5	1	0	1	0	1	1	0	4	2	2	2	0	0	38
但東中学校		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	22	0	0	0			24
中山		2	5	1		0	0	0	1	2	5	7	0	0	0	0		23

バス会社・市役所が共同で 自ら分析する気運が生まれた

# まとめ:バスに学ぶ混雑情報活用

## ■標準化・オープンデータ化

- **国際標準**に沿った**標準化とオープンデータ**化がセットで進行中
- そこに混雑情報の波が重なり、配信が始まった
- ・今後) 普及に向けた、運賃系システム開発、制度化・財源確保に期待

## ■利用実績データ分析

- ・ICカード、運賃箱金庫、乗降調査のデータは利用可能
- 地域公共交通計画の一環として自治体も利用しつつある
- 今後)混雑緩和や収支改善に向けた、地域での議論に期待

## ■鉄道に照らし合わせると

- •技術:改札データでは車両ごとに把握できないため、乗車便推定や、応荷重等のセンサーが必要
- 流通:90年代からの有償データ流通が健在で、オープンデータ化が進んでいない
- ・地域での活用:鉄道事業者任せで、網計画・運行補助・コミバスのような自治体の関与が乏しい

# ディスカッション

# 情報流通における課題

# 事業者:基礎が無いの中できるところから

#### ■できないことが多い

- 改札データでは**列車毎**の乗車人数が分からない
- 応荷重センサーにつながる通信がない、ノイズ対策のノウハウがない
- 混雑情報に紐づける、標準化され自由に配れる**時刻表データ**がない
- 他社のデータがない

# それでもできること

#### ■オープンデータ化

• 「CC-BY4.0」などのライセンスの明確化が望ましい

#### ■機械判読可能化

• 紙 < PDF < Excel < CSV/JSON/XML

#### ■標準化

• 観測方法と利用目的ごとに定義していくのが現実的か

## ■アーカイブ化

• 過去データも残すことで、予測、変化観測、効果測定を可能にしておく

#### 参考) 5スターオープンデータ

ここまで

は現実的

段階	公開の状態	データ形式	
1段階 ★	オープンライセンスでデータを公開	PDF、JPG	編集不可
2段階 ★★	コンピュータで処理可能なデータを公開	XLS, DOC	編集可
3段階 ★★★	オープンに利用できるフォーマットでデータを公開	XML, CSV	
4段階 ★★★★	Web標準(RDF等)のフォーマットでデータを公開	RDF	機械判読 可能
5段階 ★★★★★	他へのリンクを入れたデータ(LOD)を公開	Linked-RDF	HJ RE

https://www.soumu.go.jp/main\_content/000353999.pdf

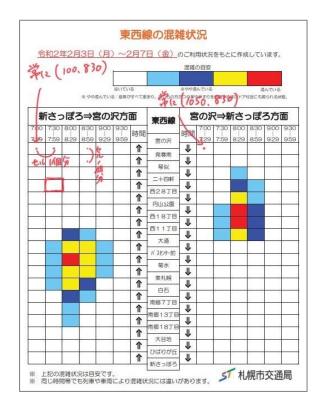
# 参考)機械判読の現場



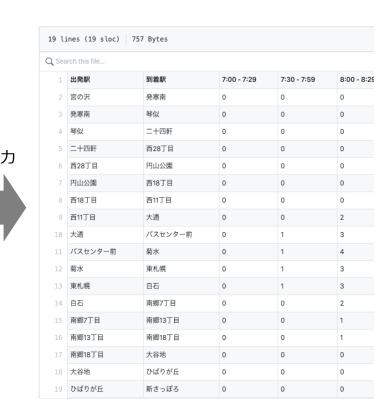
解析

https://qiita.com/Kanahiro/items/85df07e19f42b43356b9

札幌市営地下鉄の混雑状況が 色分け表のPDFで公開されているため、 コロナ情報サイトに取り込む際に 解析プログラムが必要になった。 その後、URLやPDF構成が変わり更新困難に。







# CP:精度・特性に応じた表示を(区間混雑予測)

# Yahoo!乗換案内「混雑トレンド機能」がどれも混雑して見える

新宿8:30発→小田原着

#### どの経路も混雑?



折宿 - 本厚木

#### 山手線も新幹線も混雑? ロマンスカーも混雑?



#### 逆方向なのに混雑?



検索数を基にした1日の乗車傾向を時間別に表示 路線・方面ごとに混雑度の基準は異なります

?

891円

指定席

910円

基準の異なる指標を横並びにすると誤解を招く。精度も不明。

# CP:精度・特性に応じた表示を(駅混雑 異常検出)

# NAVITIME 混雑予報

#### 現行:相対的混雑度·無段階



旧版:平常比·3段階



# Yahoo! 異常混雑予報

平常比・3段階



その時間にしては他の日より混むということであり 他の時間帯より混むとは限らないが誤解を招く

# 参考)道路交通情報提供のルール

#### 国家公安委員会告示第12号

#### 交通情報の提供に関する指針

#### 3 渋滞情報

#### (1)情報の内容

事業者は、渋滞情報を作成するときは、利用者がその内容を的確に把握することができるようにするため、原則として、情報の内容に次に掲げる事項を盛り込むこと。

- ア 日時、曜日等
- イ 路線及び方向
- ウ 始点及び長さ
- エ 交通の混雑の有無及び程度
- オ その他必要な事項

#### (2) 混雑の程度の基準

事業者は、原則として当該区間を通行する自動車の旅行速度により混雑の 有無及び程度を判断することとし、その程度を数値によって表現しない場合 には、次の表の左欄に掲げる道路の区分に応じ、それぞれ同表の中欄に掲げ る程度に交通が滞っていることを「混雑」と、同表の右欄に掲げる程度に交 通が滞っていることを「渋滞」と表現すること。

なお、この基準は、当該道路の存する地域の交通の状況に応じて変更する ことができる。

道路の区分	「混雑」と表現すべき速度	「渋滯」と表現すべき速度
郊外部の高速	60キロメートル毎時以下	40キロメートル毎時以下
自動車国道等		
都市部の高速	40キロメートル毎時以下	20キロメートル毎時以下
自動車国道等		
その他の道路	20キロメートル毎時以下	10キロメートル毎時以下

#### (2) 国家公安委員会による検証

事業者は、国家公安委員会に対し、自らが作成した動的交通情報を提出し 、当該情報の正確性を検証し、及びその結果を通知するよう求めることがで きる。

## 日本自動車工業会 ガイドライン

#### 画像表示装置の取り扱いについて

索する可能性が残るため、手動スクロール操作を行った場合は、細街路の表示を削除することとした。

上記を、表にまとめると以下の通り。( $\overline{q} = 0$ 、 $\overline{q} = 0$ )

地図縮尺	1/20,000及び	1/20,000 より	1/5,000及び
項目(走行条件等)	それより広域な地図	詳細な地図	それより詳細な地区
道路ネットワーク上重要な道路	0	0	0
細街路走行時	×	○ (スクロール時×)	○ (スクロール時×)
細街路以外を走行時	×	×	<ul><li>○ (スクロール時×)</li></ul>

#### (5)走行中表示可能な静止画について(附則2(2))

携帯電話データ通信等を用いた情報提供型ナビやDVD等の車載可能な大容量メモリの 出現等の技術の進歩により、画像による情報提供が可能となったため、走行中の画像の扱いについて取り決めを行った。

運転中有用かつ短時間で認識し易いように工夫された静止画については、走行中表示することも可としているが、具体例は以下の通り。

画像分	内	容	走行中の表	備考
類			示	
	交通情報	カメラ映像	0	短時間に理解できれば可
		案内図	0	VICSレベル2程度なら可
	天気予報	マーク	0	
静止画		案内図(道	0	VICSレベル2程度なら可
	施設情報	順)		
		外観イメージ	0	
		店内イメージ	×	
		商品イメージ	×	

# 形骸化・陳腐化している面もあるが、一定の目安にはなっている

# 運輸行政:情報開示にルールを

#### 日本の情報提供規定は掲示・紙

#### 昭和十七年 鉄道省令第三号 鉄道運輸規程

第八条 鉄道八<mark>停車場</mark>二当該停車場ヨリノ旅客**運賃表**及当該停車場 二於ケル旅客列車ノ**出発時刻表**ノ摘要ヲ<mark>掲示</mark>スベシ

…第九条 鉄道八旅客列車ガ著シク**遅延**シテ発著シ又八其ノ運転ヲ 中断シ若八休止シタルトキ八遅滞ナク其ノ旨ヲ関係停車場二掲示ス ベシ

#### 昭和六十二年 運輸省令第八号 鉄道事故等報告規則

第五条4 鉄道事業者は、鉄道運転事故、輸送障害(列車の運転を休止したもの(略)又は旅客列車にあっては**三十分以上**(略)**の遅延**を生じたものに限る。)(略)が発生した場合には、発生の<mark>翌月二十日まで</mark>に、発生した月の当該事故等の発生の日時及び場所、当該事故等の概要及び原因、被害の状況並びに発生後の対応をとりまとめて記載した鉄道運転事故等届出書を地方運輸局長に提出(略)

R2年度2次補正 感染拡大防止対策のリアルタイム情報 システム導入にもデータ公開は補助要件化されていない

#### EUはデータ標準化・オープン化へ

表 1 travel/traffic 及び道路のデータの欧州標準5

(MMTIS 規則第4条及び第5条並びにRTTI 規則第4条から第6条までを元に作成)

	静的情報	動的情報
道路交通	-	DATEX II
その他の交通モード	NeTEx 等	SIRI 等



#### 表 2 ナショナルアクセスポイントを通じた提供期限(MMTIS 規則を元に作成)

静的 travel 及び traffic のデータの例	欧州横断交通網	欧州横断交通網以外				
路線型交通の時刻表等経路検索情報等基本デ	9010年19日					
ータ (移動制約者用設備・車両情報も含む。)	2019年12月					
基本運賃情報、需要対応型モードの位置検索						
情報(駐車場、カー/バイクシェア拠点等を含	2020年12月	2022 /5 12 1				
む。) 等		2023 年 12 月				
詳細運賃情報、通行料金支払方法、予約方法						
(カーシェア、タクシー、貸自転車)、サイク	2021年12月					
ル網の詳細特徴、車両燃費等						

とりわけ混雑・遅延のようなネガティブ情報には 開示ルールが必要ではないか?

# 運輸行政:陳腐化した統計を立て直し

## ■都市鉄道の混雑率調査結果

・ 最混雑1時間・1駅分の平均値のみ

https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo04\_hh\_000095.html

<u>[</u> ]	[大手民鉄] (令和元(2019)年度															9)年度)				
事業者名					線	名				区	間			時間帯	編成(両	·本 ·本		輸送力 (人)	輸送人員 (人)	混雑率 (%)
				伊	李	<u>,</u>	崎	小		菅	→北	Ŧ	住	7:30~8:30	8.4	×	41	45,314	67,956	150
				東			H	北	池	袋	→池		袋	7:30~8:30	10	×	24	33,120	44,728	135
東	武	鉄	道					北	大	宮	→大		宮	7:30~8:30	6	×	14	11,592	14,322	124

#### ■都市交通年報

・毎年、4年後に発刊(最新はH28年版)。年合算のみ。IDも無いExcel。

#### ■大都市交通センサス

・5年に1回、1年半後に公開。拡大推計誤差が大きい。通勤時間のみ。IDも無いExcel。

# ■パーソントリップ調査

・10年に1回、1年後に公開。地域統計で鉄道の細かい情報は乏しい。

# 研究開発、政策検討のために使える情報が乏しい

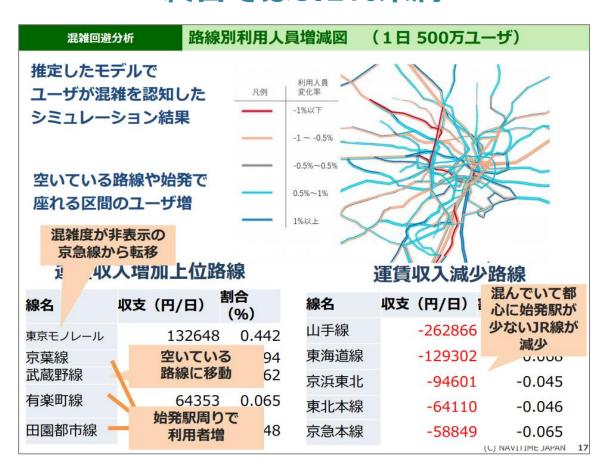
# なんのための混雑情報か

# 乗換検索アプリによる行動変容には限界がある

# 混雑アイコン1段階は 所要時間換算0.6~2.2分の影響

#### 経路選択モデルの構築結果 混雑回避分析 1ヶ月、3万件のデータを元に多項ロジットモデルにて推定 推定值 説明変数 t値 -0.99 -45.84 所要時間 [10分] 待ち時間 [10分] -0.96 -47.34 -35.41 [100円] -0.44立って乗車できる 乗換回数 [回] -0.90 -50.37 圧迫される 混雑^2 x 時間 -0.0067-13.71「10分 x 混雑^2 身動きできない 52.59 第一経路グミー 0.88 乗れない 混雑表示ダミー 0.50 8.48 31934 サンプル数 調整済み尤度比 0.27 22.4 所要時間価値 [円/分] 乗換抵抗 「分/回〕 9.09 混雑1段階が30分乗車の場合 0.6~2.2分差に相当 アイコン間の混雑不効用 0.6分 1.4分 2.2分 1.8分 16

# 混雑路線の利用減少効果は終日では0.1%未満



https://consulting.navitime.biz/pdf/presentation 20170610 2.pdf

現地案内、通勤通学制度、混雑運賃などの総合的なTDMが必要

# 収支改善による運行維持も必要

#### ■減収に伴うコスト削減が急務

• 長期的にも数十%の利用減少が見込まれる

#### ■混雑を多少上げても減便・減車せざるをえない

• 平準化すれば同じ輸送力でも最大混雑は下がる

#### ■適正な混雑目標が必要

- 混雑緩和一辺倒では成り立たない
- ・右図のように乗車率3割では持たない

# 40' buses 12 riders 18 riders Supporting Social Distancing on Metro Metro is limiting passenger capacity to protect passenger and employee health. Wiking County METRO Moving forward together

アメリカ・キング郡メトロの記事 https://kingcountymetro.blog/2020/04/22/metrocreates-passenger-limits-to-support-social-distancing/

## ■社会に変革を迫るには情報開示が必要

- 混雑運賃、通勤・通学時間分散、通勤費税制などの改革のためには 情報開示から合意形成を図る必要がある
- 赤字に転落する鉄道へ運行補助をするなら、いっそうの透明性は必要

# 誰の何のための混雑情報か

#### ■利用者

• 車両、列車、経路、出発時刻、移動有無、立地…

#### ■会社/学校

・就業/就学時間、リモートワーク、通勤手当、立地…

#### ■社会

・ 混雑目標設定、移動自粛、減便/減車、混雑運賃、通勤税制、運行補助などの合意形成

#### ■メディア

乗換検索CP、マスコミ…

#### ■研究機関

• 混雑推計、TDM/行動変容、感染リスク…

本勉強会のスコープ(橙太字)は問題解決には狭く、 平常時の検討ペースを引きずっている印象

行動変容全体をデザインしながら 諸制度改革、情報公開改革も含めて考える必要があるのでは?